

農業委員会だより



よさの

第54号 R8.3発行

編集発行

与謝野町農業委員会
広報編集委員会

〒629-2498

与謝郡与謝野町字加悦433番地
(加悦庁舎2階)

TEL : 0772 - 43 - 9023 (直通)



滝の千年ツバキ



春の訪れを感じるつくし

【目次】

農地保全対策協議会の設立	2
丹後産コシヒカリおいしいお米コンテスト	2
令和7年農地情報	3
手作り味噌の仕込み作業	4
編集後記	4

農地保全対策協議会の設立

3月2日に加悦庁舎元気館で農地保全対策協議会が実施されました。近年、農業従事者の高齢化や後継者不足により耕作放棄地が増加し、農業生産力の低下や住環境の悪化、地域コミュニティーの衰退が深刻な問題となっています。この課題に対応するため、農業関係者・地域関係者で準備会を開催し協議を重ねた結果、農業関係者だけでは解決が困難との認識が共有され、協議会が設立されました。協議会は、地域だけで解決できない課題（共同作業の継続、農作業代行の仕組みづくり、農業機械の共同利用、獣害対策、農業組織の法人化）等、地域農業が抱える多様な課題について検討・提言を行います。

また、協議会終了後には丹波篠山市農都創造政策官・森本秀樹氏を講師にお招きし、「地域計画の実現をめざして」をテーマに講演会が開催されました。大規模農家・集落営農組織・地域住民が連携して農業を守る先進事例をご紹介いただき、協議会委員・農業委員・農地最適化推進委員・地域計画の地区代表者の約30人が参加されました。

今後、農業分野においての課題は、農業関係者だけでは解決できないことも多く、地域や行政も一体となって解決に向けて取り組んでいく必要が求められます。

農地保全対策協議会委員

◎会長 ○副会長 （順不動・敬称略）

所属等	氏名
与謝野町役場（副町長）	◎井上 雅之
与謝野町役場（企画財政課長）	○山口 崇
与謝野町農業委員会	番 晃
与謝野町農業委員会	宮本 浩司
農業者（若手農業者）	山崎 俊彦
丹後広域振興局	太田 典宏
京都農業協同組合	田中 広之
有識者（町内事業者）	植田 泰史
自治組織（加悦区長）	渋谷 和雄
自治組織（幾地区長）	永岡 暁

オブザーバー

丹後農業改良普及センター（所長）	佐藤 隆司
京都府農業会議（現地推進役）	増田 英雄

丹後産コシヒカリおいしいお米コンテスト



小谷 安博さん

長山 龍市さん

2月20日に丹後農業研究所で丹後米改良協会が主催する2025年度「丹後産コシヒカリおいしいお米コンテスト」の表彰式が開催されました。外観・食味審査の部では、玄米についての整粒率、食味値が審査され、長山龍市さん（算所）が優秀賞を受賞。ほ場審査の部では、水や畦畔管理、雑草や病虫害発生等が審査され、小谷安博さん（後野）が4年連続で最優秀賞を受賞。コンテストは、生産者相互の研鑽を図るとともに、良食味米生産技術の普及と定着により「丹後産コシヒカリ」の品質向上を図ることを目的として毎年実施されています。今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。

令和7年 農地情報

◎賃借料

物納	区分	平均	最高	最低	件数
	町内全域	25kg/10a	30kg/10a	0kg/10a	90

現金	区分	平均	最高	最低	件数
	町内全域	4,500円/10a	5,000円/10a	0円/10a	70

* 令和7年1月から令和7年12月までに農地法及び農業経営基盤強化促進法により締結(公告)された賃借料を集計しています。(特殊な取引(高額)に係るデータは除く)

* 必ずお互いで話し合い、納得できる賃借料を決めてください。

◎農作業請負料金

区分	参考価格 (機械使用料込・オペレーター料込・税別)	
	整形地	不整形地
荒起こし	11,000円/10a	13,200円/10a
切り替えし	8,000円/10a	9,600円/10a
代かき	12,000円/10a	14,400円/10a
田植え (苗・農薬・肥料別)	(肥料散布無) 9,000円/10a (肥料散布込) 12,000円/10a	(肥料散布無) 10,800円/10a (肥料散布込) 14,400円/10a
コンバイン刈	26,000円/10a	31,200円/10a
合計	66,000円/10a～69,000円/10a	79,200円/10a～82,800円/10a
乾燥・調製	1,500円/30kg 1,800円/30kg (色彩選別含)	1,500円/30kg 1,800円/30kg (色彩選別含)
畔ぬり	100円/m	100円/m

* 必ずお互いで話し合い、納得できる料金を決めてください。

◎農地の動き (令和7年4月から令和8年3月)

申請・届出 区分	件数	面積 (㎡)	申請・届出 区分	件数	面積 (㎡)
農地法 第3条	28	36,444	農地形状変更	13	8,106
農地法 第4条	3	4,941	農地形状変更 (畔取りのみ)	19	31,408
農地法 第5条	10	15,833	中間管理事業 (利用権賃借)	447	532,854

手作り味噌の仕込み作業

1月下旬から2月にかけての寒い時期は「寒仕込み」と呼ばれ、手づくり味噌の仕込みに最も適した季節です。町内でも婦人会や地域の皆さんが集まり、昔ながらの味噌作りが受け継がれています。今年も山本農園（滝）での味噌作りに参加をさせていただきました。ここでの味噌作りは、地元で育てられた青大豆を使用し、山本農園さん手作りの麴で仕込み、さらに「おくどさん」で薪を使って炊き上げるという、今では珍しい、手間ひまを惜しまない方法で行っています。地元の恵みを活かし、自然の力と人の手で丁寧に仕込む味噌は、時間とともにゆっくりと成熟し、秋には深みのある豊かな味わいへと育ちます。仲間と一緒に作る伝統の味を大切に守っていきたいと感じました。

（木村 有紀子 委員）



作業のようす



全国農業新聞

全国農業新聞は、地域農業者の代表機関である農業委員会ネットワークが発行する農業専門紙です。1週間の農政の動きや、現場で役立つ栽培技術・流通の情報、魅力的な農家の取り組みを幅広く伝え、担い手の皆様の経営発展に役立つ新聞です。購読を希望される方は農業委員会へお問い合わせください。

■発行 毎週金曜日 ■購読料 月額900円(税・送料込)



広報編集委員

広報編集委員

問学谷義人 委員長
谷原 光昭 副委員長
成毛 義信 委員
本城 智鶴 委員
木村有紀子 委員
小田 則子 委員

畦道にフキノトウが顔を
を出し、トラクターの音
が響く頃となりました。
いよいよ春本番です
ね。この冬初めて糶作り
に挑戦してみたのですが、仕込みか
ら一日目、二日目、三日目と味を確
かめるたびに、その変化に驚かされ
ました。米のでんぷんがゆつくりと
分解され、日に日に甘みが増してい
きます。温度管理ひとつで出来が左
右される繊細さは、どこか子育てに
も似ているように感じました。手を
かけ、見守り、待つことの大切さを
改めて実感しています。
まもなく春の農繁期が始まりま
す。事故やケガのないように気をつ
け、実り多い季節を迎えましょう。
（小田 則子 委員）

編集後記

